



富岡シルクブランド協議会

富岡市



- ▶ 代表者: 榎本 義法
- ▶ 設立年月日: 2008年5月7日
- ▶ 従業員数: 7人
- ▶ 住所: 富岡市富岡33-4(旧葦塚製糸場内)
- ▶ TEL: 0274-67-7355
- ▶ Mail: tomiokasilk@tomioka-silkbrand.jp
- ▶ URL: www.tomioka-silkbrand.jp

当社HPへは
こちらから→



企業紹介

“幸せつなぐ 富岡シルク”

世界遺産 富岡製糸場のある富岡市内の養蚕業を守り、次世代に継承することを目的とし、2008年に設立されました。繭生産から純国産シルク製品の製造・販売に至るまでのサプライチェーンを強化した繭生産地富岡市において、魅力ある“富岡シルク”製品を開発しています。

純国産“富岡シルク”製品は富岡製糸場内にある“富岡シルクギャラリー”にて販売しています。



経緯・背景

富岡製糸場のある街富岡市に養蚕業が現在も存続していることが最大の価値であることを念頭に、(一財)大日本蚕糸会と富岡市、甘楽富岡農協とが連携し、高齢化とともに衰退する地元の養蚕業を次世代に継承していく持続可能な社会の実現に向けての取組です。

- ・2008年5月 富岡シルクブランド協議会設立(会員絹加工業者6社)。富岡シルクマークを定め、企業概要に賛同する製造・販売業者と連携した富岡シルクコレクションを展開
- ・2014年6月 富岡製糸場が世界文化遺産に登録
- ・2021年1月 製造販売サプライチェーンの強化支援により現在、会員絹加工業者数42社

具体的な取組

- ・“シルクと共にある暮らし”を提唱し、シルク素材の素晴らしさを発信
- ・富岡市ならではの付加価値のある繭、生糸を生産
- ・生産者、生産時期の明確化 ⇒ それぞれの収穫期に沿った商品開発
- ・独自の繭検査基準を設定し、より高品質な繭生産を推進
- ・生糸、繭の“小ロット需要”にも対応できる仕組みを確立
- ・和装、洋装、生活雑貨、美容、コスメ、健康それぞれのジャンルの製造業者と連携し、多種多様な消費者ニーズを取り入れた“富岡シルクコレクション”を展開
- ・富岡シルクマーク制度の確立および富岡シルクのブランド化を推進
- ・富岡製糸場内において“富岡シルクギャラリー”を運営し、国内外の来場者に向けて富岡シルクの素晴らしさを発信



成果・効果

- ・養蚕農家、製糸・製造・販売業者までの連携強化により、地元の養蚕文化と伝統技術の継承
- ・繭生産量の安定確保
- ・製品サプライチェーンの強化による商品バリエーションの増加
- ・特徴ある高品質なモノづくり
- ・富岡シルク製品、純国産絹製品の需要の拡大
- ・富岡シルクのブランド化推進による市場の差別化
- ・ギャラリーおよびショッピングサイト運営による情報発信
- ・リピーターの獲得



当社にとってのSDGsと、その展望

- ・純国産シルク製品の製造連携、ネットワークの構築強化 ⇒ 伝統技術の継承
- ・化学繊維から環境に優しい天然繊維(シルク)への転換を推進 ⇒ 環境
- ・富岡シルク製品の海外に向けての情報発信および販路開拓 ⇒ 歴史・文化の発信
- ・健康志向のニーズを取り入れた高付加価値“富岡シルク”製品開発 ⇒ 需要拡大
- ・新規養蚕業参入に資する取組 ⇒ 地域振興、養蚕文化の継承
- ・純国産シルク業界の発展に資する取組

